

決 算 報 告 書

第 5 期

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

牛久シャトー 株式会社

茨城県牛久市中央 3 丁目20番地1

牛久シャトー株式会社 第5期事業報告
(令和5年4月 ～ 令和6年3月)

事業概要

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、感染対策を求められる事が無くなりました。しかしながら、観光地のおかれた状況は大変厳しく、旅行会社による団体旅行も10月以降から動き出す状況でした。一方、イベント開催など少し明るい兆しも見え始め、シャトーで鯉祭りの実施、うしくカップ祭りなども実施されるようになり、ビールやワイン、軽食の販売を行いました。また、茨城DCキャンペーンに参加し「牛久シャトーナイトツアー」を実施しました。茨城県やJR東日本旅客鉄道のサポートもあり限定参加者数の約2倍の180名を超える参加がありました。

物販や飲食事業は、コロナウイルス感染症や東欧での紛争の影響を受け、原材料費や光熱水道費、燃料費が高騰し、ショップは仕入れ商品の値上げが続きました。値上げ分の価格は、商品への転嫁を極力行いましたが、値上げできない商品もあり利益を圧迫しました。レストランは、全ての食材が値上がり状況でしたが、販売価格を維持し、集客に努めました。価格維持にあたっては、コストカットや業務の簡素化で対応を図りましたが、依然飲食を取り巻く環境は厳しい状況でした。

県南水道より2021年9月に指摘を受けた漏水は、漏水箇所が分からず令和6年3月まで修繕が進まず、期間中の漏水水道費約1,000万円を負担し、約300万円が還付されましたが、漏水が利益を圧迫しました。

施設の賃貸は、旧パン工房を2022年12月に賃貸契約の締結に至り、令和5年度も継続しました。

地域との取組は、牛久市内の企業の協力を得て、ボランティアによる除草作業や牛久市の区長会による花壇の整備を行って頂きました。

ワイン文化日本遺産協議会の協力を得て「日本遺産フェスタ」を2023年5月と2024年2月に実施し、多くの来場者があり地域活性化の一助を担いました。

また、地域団体との音楽イベントやマルシェ、牛久市商工会とのイベントも行い、地域との連携を図り、集いの場としてのシャトーをアピールしました。

事業報告

① 施設の維持管理

重要文化財である神谷傳兵衛記念館やオエノンミュージアムは、お客様が気持ち良く利用できる様に清掃や衛生用品を設置し維持管理に努めました。

施設内の水道は、2021 年 9 月県南水道より牛久市経由漏水の指摘を受け、漏水箇所の特定ができませんでしたが、2022 年 10 月に漏水場所が特定され、2024 年 3 月修繕を行って頂きました。18 ヶ月間の漏水の水道代金は当社が全額負担しています。ライフラインである水道について賃貸者がその代金を支払うべきものでないと考え、所有者への弁済について牛久市と協議していきます。

電気設備は、園内あちらこちらで埋設された配線がショートしている状況で、そのたびに修繕を行ってきましたが、修繕できない箇所も多数あり、工事業者より根本的な電気設備の見直し時期ではないかとの助言を受けました。水道、電気設備ともに経年劣化であり抜本的に見直しが必要であるとここに報告します。

② 製造及び葡萄圃場

シャトー内の圃場は、竹林の一部を開墾し圃場を広げ、果実酒の永久製造免許取得に向けて葡萄の収穫量を増やしました。

外部連携は、継続的に茨城農芸学院に葡萄の栽培方法を指導し、2023 年初めて 567 キロのメルローを収穫し、牛久シャトーの葡萄と合わせて醸造を行いました。

また、日本遺産の甲州市から甲州葡萄、山形県からマスカット・ベリー A を買付け醸造し、永久免許取得数量の 6 キロ以上の醸造を行いました。次年度 6 キロ以上の販売を達成し、永久免許への切り替えを目指します。

③ 営業施設

施設全体の売上高は、206,524 千円(前年比 107.2%)となりました。

<ショップ>

販売商品の改廃を行い、付加価値を付けたセット商品、ギフト、通信販売、ふるさと納税などあらゆる販路拡大に挑戦をしました。ワイン文化日本遺産協議会と連携し、閑散期にテレビアニメとコラボレーションをした商品の販売を行いました。また、ショップ前では週末の軒先販売を行い、シャトーでワインやビールと軽食を楽しめるようにしました。昨年に比べ客観的ではあるが旅行者の受入数は増えているものの、補助金が無くなったことで客単価は大幅に落ち込みました。

売上高は、88,402 千円（前年比 99.7%）となりました。

<レストラン>

経験者の雇用確保を進め、安定したサービスと運営を目指しましたが、コロナウィルス感染症の拡大により飲食事業から離れる人も多く、従業員の確保に苦慮した年度となりました。

営業面では、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられましたが、旅行会社の集客は企画募集から始めるため、ご利用は10月以降となりました。一方で旅行会社への補助金が無くなり高価格帯ランチから低価格帯のランチへとシフトされました。ディナータイムの集客は、地元団体・企業への営業を強化し貸切団体の集客が増加しました。

売上高は、66,863千円（前年比103.4%）となりました。

<BBQ>

2023年3月の桜にあわせ営業を再開できる様に従業員の募集を行いました。応募者ゼロでした。2024年は期間限定で3月23日より4月13日まで夜桜ライトアップイベントを実施しました。

食材のロスゼロを目指し利益を重視したスタイルで営業を行いました。食材は、外部よりパック詰めで仕入れてロスを軽減し、利益率の高い営業スタイルを取り入れました。2024年の夜桜ライトアップ期間は、約1,000名の受け入れを行いました。また、その後も20名以上の完全予約制でロスのでない営業を行いました。

売上高は、10,145千円（前年比478.9%）となりました。

④ その他

<全体>

牛久シャトーの水道光熱費は、昨年と比較すると大幅に増大している為、常にコスト削減を実施したものの、料金の値上げが行われた結果大幅に上昇しました。

また、飲食営業に係るスタッフを募集してもスタッフが揃わない状況の中で、派遣や組織を変更して横断的かつ柔軟的にスタッフを活用し営業を行いました。

一方で、施設の老朽化による停電・漏水箇所もあり、イベントなど施設の利用に支障をきたしました。

<撮影>

ドラマやCM、写真館によるブライダル等の撮影を多数行いました。

<その他>

旧テラス ドゥ オエノンは、コロナウィルス感染症ワクチンの接種会場として
11月より12月末まで有料で貸し出しを行いました。

貸借対照表	
現金	100
預金	200
有価証券	300
固定資産	400
負債	500
資本	600
合計	1,000

2024年03月31日 現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金および預金	60,336,128	買掛金	8,990,251
売掛金	6,226,288	未払法人税等	185,000
未収入金	1,679,591	未払消費税等	2,005,900
商品	5,956,886	未払費用	235,247,533
製品	979,742	前受金	14,000
原材料	2,954,334	短期リース債務	7,018,440
仕掛品	6,576,627	流動負債合計	253,461,124
貯蔵品	251,456	長期リース債務	11,361,570
立替金	818,941	固定負債合計	11,361,570
流動資産合計	85,779,993		
建物付属設備	429,915		
機械・装置	16,726,234		
工具・器具・備品	1,226,903		
リース資産	16,709,100		
有形固定資産合計	35,092,152		
ソフトウェア	4,244,333		
無形固定資産合計	4,244,333		
固定資産合計	39,336,485		
		負債の部合計	264,822,694
		純資産の部	
		資本金	95,120,000
		資本金合計	95,120,000
		繰越利益剰余金	△234,826,216
		その他利益剰余金合計	△234,826,216
		利益剰余金合計	△234,826,216
		株主資本合計	△139,706,216
		純資産の部合計	△139,706,216
資産の部合計	125,116,478	負債・純資産の部合計	125,116,478

損 益 計 算 書

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【営業損益の部】		
商品売上高	167,692,572	
製品売上高	3,463,323	
賃貸収入	2,700,000	
管理収入	13,440,000	
その他収入	19,228,954	
売上高合計		206,524,849
期首棚卸高	4,613,677	
商品仕入高	65,835,259	
製造原価	34,671,229	
合計	105,120,165	
期末棚卸高	5,956,886	
売上原価合計		99,163,279
売上総利益（損失）		107,361,570
販売費および一般管理費合計		177,489,131
営業利益（損失）		△70,127,561
【営業外損益の部】		
受取利息	632	
雑収入	13,567,411	
営業外収益合計		13,568,043
雑損失	1,200	
営業外費用合計		1,200
経常利益（損失）		△56,560,718
特別損益の部		
税引前当期純利益（損失）		△56,560,718
法人税、住民税及び事業税	185,000	
当期純利益		△56,745,718

販売費および一般管理費

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
役員報酬	13,550,400	
販売員給与	43,117,737	
法定福利費	6,235,553	
販売員旅費	1,303,768	
広告宣伝費	617,350	
発送配達費	1,442,320	
支払手数料	2,898,623	
販売促進費	1,602	
施設警備費	7,920,000	
衛生費	3,510,593	
リース料	1,603,535	
減価償却費	6,666,522	
地代家賃	50,400,000	
修繕費	6,532,116	
事務用消耗品費	2,762,241	
通信費	410,942	
水道光熱費	16,168,551	
租税公課	212,846	
外注費	3,776,493	
寄付金	6,860	
接待交際費	108,918	
保険料	312,080	
備品・消耗品費	4,184,867	
厚生費	225,152	
管理諸費	3,167,520	
車輛燃料費	79,233	
雑費	55,309	
諸会費	218,000	
販売費および一般管理費合計		177,489,131

製 造 原 価 報 告 書

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
期首材料棚卸高	4,193,419	
材料仕入高	4,826,047	
期末材料棚卸高	3,934,076	
材料費合計		5,085,390
賃金	13,669,349	
法定福利費	1,552,244	
厚生費	16,364	
労務費合計		15,237,957
水道料	5,394,474	
減価償却費	3,974,218	
修繕費	1,393,624	
租税公課	2,343,000	
消耗品費	923,136	
旅費	571,919	
衛生費	245,598	
雑費	1,251,600	
経費合計		16,097,569
期首仕掛品棚卸	4,826,940	
製造原価合計		41,247,856
期末仕掛品棚卸	6,576,627	
当期製造原価合計		34,671,229

株主資本等変動計算書

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

(単位：円)

	当 期 片 残 高	変 動 事 由					当 期 変 動 額 合 計	当 期 末 残 高
		当 期 純 利 益						
資本金	95,120,000						0	95,120,000
資本金合計	95,120,000						0	95,120,000
繰越利益剰余金	△178,080,498	△56,745,718					△56,745,718	△234,826,216
その他利益剰余金合計	△178,080,498						△56,745,718	△234,826,216
利益剰余金合計	△178,080,498						△56,745,718	△234,826,216
株主資本合計	△82,960,498						△56,745,718	△139,706,216
純資産の部合計	△82,960,498						△56,745,718	△139,706,216

個 別 注 記 表

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物付属設備は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産・・・定額法

リース資産・・・リース期間定額法

貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

25,476,248円

消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式により処理している。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式(発行済株式)

前期末株式数(発行済普通株式)

9,512株

当期末株式数(発行済普通株式)

9,512株

リースにより使用する固定資産に関する注記

㈱トヨタレンタリース茨城 (車両運搬具)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	2,282,400円
(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	1,585,000円
(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	697,400円

リコーリース㈱ (パソコン・電話器・レジスター・LED証明)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	10,800,000円
(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	8,028,900円
(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	2,771,100円

三井住友ファイナンス&リース㈱ (パソコン・厨房機器)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	4,612,800円
(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	2,410,400円
(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	2,202,400円

日立キャピタル\BL㈱ (パソコン)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	516,000円
(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	326,800円
(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	189,200円

㈱シンセイ (テント・ライト)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	6,000,000円
(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	3,500,000円

個 別 注 記 表

自 2023年04月01日
至 2024年03月31日

(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	2,500,000円
---------------------------	------------

JA三井リース㈱ (ワイン醸造設備)

(1) 事業年度の末日における取得原価相当額	12,751,200円
------------------------	-------------

(2) 事業年度の末日における減価償却累計額相当額	4,402,200円
---------------------------	------------

(3) 事業年度の末日における未経過リース料相当額	8,349,000円
---------------------------	------------